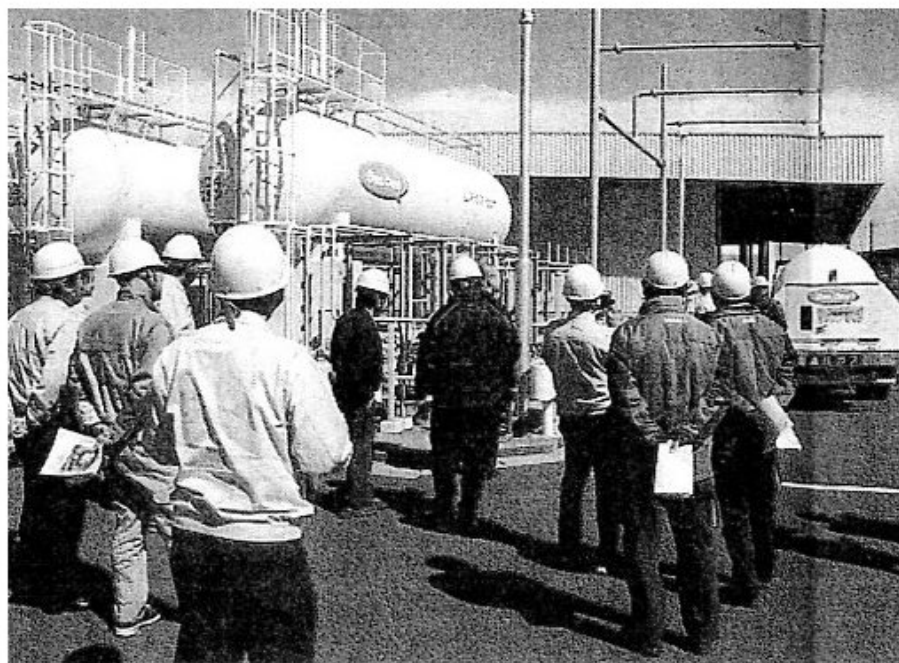


中核充填所訓練に14事業所参加

静岡県協 サイサン磐田営業所で実施

静岡県LPガス協会(森峯雄会長)は3月15日、静岡県中核充填所稼働訓練を磐田市の



搬送・受け入れ訓練の様子

サイサン磐田営業所(荒木永佳所長)で開いた。県内中核充填所14事業者が参加し、静岡県液化石油ガス地域防災協議会が協力した。

東日本大震災で、国は石油備蓄確保などに関する法律を改正。特定石油ガス輸入業者などを指定し、被災状況などの把握やLPガス供給の円滑化で輸入基地や中核充填所などの整備を進めた。

中核充填所は全国344カ所、静岡県でも14カ所を整備。災害時に連携して災害状況把握やLPガス応急供給

の役割を担う。災害時情報収集やLPガス供給が円滑になるよう、体制を整える目的で稼働訓練を実施した。

訓練は、駿河湾沖と相模湾沖を震源とする大規模地震(最大震度7)発生を想定。被害は県内全域で建物倒壊、火災が発生。LPガス設備を含めたライフラインが甚大な被害を受け広域で停電発生。中核充填所施設は停電で電源喪失。人的・物的被害はない——という状況で行った。

訓練は、①非常用LPガス発電機稼働訓練で停電時の電源回復

(事務所・充填所の電源回復確認)②ローリ—によるLPガス搬入で国家備蓄LPガスを放出し中核充填所へ搬送・受け入れ③委託充填作業は容器にLPガスを充填し各避難所へ配送の準備④炊き出しステーション設置し「災害救助用炊飯袋」で炊飯・レトルトカレーを調理——などを行った。